

九州防衛局長

伊藤 和己 様

令和7年度 自衛隊と米海兵隊との
実動訓練に関する

要 請 書

鹿児島県 鹿屋市

令和7年9月11日から9月25日まで実施される自衛隊と米海兵隊との実動訓練においては、陸上自衛隊と米海兵隊のオスプレイ合計11機が鹿屋航空基地において駐機、燃料補給、整備等を実施するほか、米軍側の参加者約150名が鹿屋航空基地の外に滞在することとなっています。

オスプレイについては、令和5年11月の屋久島沖での墜落事故や、機体トラブルの発生が度々報じられていること等を受け、市民の間には不安の声があるものと考えています。

また、米軍関係者が市中で活動する場合においては、事件・事故が発生しないよう、服務規律や交通安全ルール等の厳守が求められます。

ついては、今回の訓練の実施に当たり、下記の事項について要請します。

記

- 1 市民の安全安心を確保するため、事件や事故が発生しないよう安全対策に万全を期すこと。
- 2 訓練の詳細については、適宜、情報提供を行い、事前の情報と異なる状況が生じた場合は、その都度報告すること。
- 3 米軍関係者の市中での活動については、事件・事故等の発生防止に万全を期するとともに、服務規律や交通ルールの厳守について必要な措置を講じるよう、米側に要請すること。
- 4 万一、事件や事故が発生した場合は、国の責任において適切に対応するとともに、速やかに情報提供を行うこと。

令和7年8月13日

鹿屋市長 中西 茂

